

【海洋生物】

5月28日(木)、合同巡検に向けての講演が行われました。今回は第一回目、海洋生物についての内容でした。浅虫の海洋生物に詳しい東北大学附属浅虫海洋研究センターの武田哲先生をお招きし、講演をしていただきました。今回の講演で合同巡検に対する意識が変わったと思います。講演の概要と生徒の感想をご紹介します。



<概要>

- ・浅虫の海岸では実にさまざまな生物が見られることや、それらの生物の生息地やえさなどについて説明。
- ・「実際に採集して検証することも大切だ」ということ。

<参加者の感想>

- ・岩壁にすむ生物により、岩壁の色が変化するということが驚きました。さまざまな工夫・特性を持った生物がいる浅虫海岸に行けるのが楽しみです。ムラサキインコガイやいろいろな種類のヒトデ・イソギンチャクをこの目で観察し、レベルの高い学術研究を行いたいと思います。
- ・浅虫海岸に生息する貝の種類がとても豊富であることに驚きました。それぞれの個体によって、大きさ・主とする食物・生息域・形などあらゆる要素に違いがあり、実際に観察してみたくくなりました。

【考古学】

6月25日(木)には、東北歴史博物館の佐藤憲幸先生をお招きして、「縄文時代の東北地方 ～三内丸山遺跡を中心に～」と題した講演をしていただきました。

<概要>

- ・縄文土器は1万5000年前に、調理具・容器・食器としてドングリなどを熱したり、貯蔵したりしていた。
- ・粘土は層状構造になっていて、高温で焼くことでセラミックになる。→人類初の化学反応による技術革新である！

<参加者の感想>

- ・今回の講義で弓の話に私は一番、興味を持ちました。地球の環境・生息動物の変化・そして人類の狩りの方法の変化と多くの条件がからみ合って弓が発達していったということが不思議でありおもしろかったです。
- ・歴史は文系の科目だけれど、その裏には科学的な根拠や考察があっておもしろいと思った。考古学は、文理両方の特色を持っていて、奥深い学問で、大昔のことを想像していく、とてもロマンのあるものだった。
- ・興味を持って話を聞くことができた。普段授業で習っていたことを深く掘り下げた話をたくさん聞けたので視野が広がったと思う。特に、土器の移り変わりや三内丸山遺跡の発掘の経緯などを知り、歴史に対する新しい興味がわいてきた。
- ・旧石器時代と縄文時代の境目が温度、道具、土器でさまざまに分けられるというのが興味深かった。そのほかにも、今まで思い込んできたことがどんどん覆されていくだろうというのは、とても楽しみです。



【合同巡検】

<概要>

7月2日(木)・3日(金)の2日間、私たちは合同巡検として、青森県の三内丸山遺跡と浅虫海岸を訪問しました。2日間とも良い天気恵まれ、豊かな自然を満喫しながら充実した学習を行うことができました。

<三内丸山遺跡>

仙台からバスに揺られること5時間、青森県に到着した私たちが初めに訪れた三内丸山遺跡。この遺跡は、1992年から発掘調査が行われ、調査開始から23年経った現在も調査が続けられています。これまでに550棟を超える竪穴住居跡や約500基もの大人の墓、800基以上の子供の墓が発掘されています。さらには、他の集落との交流を示すヒスイなども出土しました。現在これらの出土品は復元・保存され、一部は隣接する「縄文時遊館」という展示施設で公開されています。また、それらは国の重要文化財に指定されています。発掘された竪穴住居も一部が復元されており、当時の様子を再現しています。青森県はこれらの重要性から、1994年にこの遺跡の保存を決定、翌年からは遺跡の整備と公開を始めました。



<生物実習>

合同巡検2日目の生物実習では、約1ヵ月前から各班で話し合った計画をもとに目的の生物を探し、実験を行いました。前日の下見では波や風が強く、翌日が心配されましたが、幸運なことに当日は波が穏やかで天候にも恵まれました。海岸には砂浜海岸の他に転石海岸や岩礁海岸が存在し、それぞれ見られる生物が違うので、なかなか目的の生物を見つけられない班もありましたが、他の班と協力して見つけだしたり、他のテーマに切り換えたりするなどの対応をしていました。そうして、貝の浄化作用やヤドカリの生態系、ヒトデの反応など豊かな自然に囲まれた浅虫海岸ならではの様々な生物についての実験を行うことができました。中学校ではできないこのような経験を通して、自然に親しむことの楽しさや柔軟に考えて対応する行動力を得られたのではないかと思います。



【編集後記】

今回の「茶畑 SR times」はいかがでしたか。この編集をさせて頂き、限られた時間で分かりやすく構成していく難しさを知りました。今回の経験を次回の編集に生かしたいと思えます。

さて、仲間と協力し、無事に終えることができた合同巡検。今後はレポート作成や発表があります。期限に気を付けてがんばりましょう。

